

平成27年度  
瀬戸内市学力・学習状況調査  
結果のまとめ

☆実施日：平成27年4月21日

☆実施学年：小学校第4・5学年

中学校第2学年

☆実施内容：学力調査（国語・算数・数学）

生活行動・学習活動調査

※ 問題は全国、及び岡山県学力・学習状況調査に準拠し、  
「基礎的問題」と「活用的の問題」から構成されていま  
す。問題は前学年までの学習内容から出題されています。

平成27年7月  
瀬戸内市教育委員会

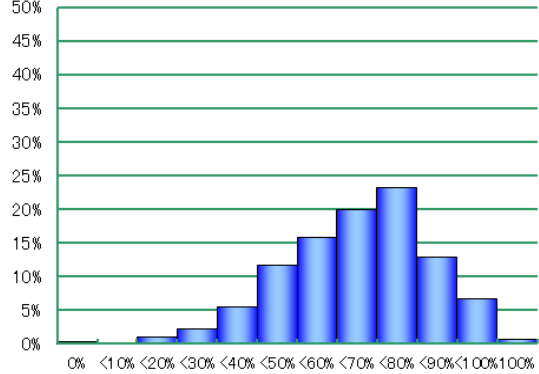
# 平成27年度瀬戸内市学力・学習状況調査結果の概要(小学校第4学年)

## 1 学力調査結果(基礎・活用)

### 国語

	国語				
		基礎	活用		
			思考・判断力	表現力	
目標値	66.3	70.0	50.0	48.3	52.5
瀬戸内市	64.7	69.0	46.1	38.5	57.5
H26年度	63.8	66.1	54.0	59.5	45.7
全国	64.2	68.1	47.1	42.2	54.4
評価	≒	≒	≒	▼	△

★正答率度数分布



※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

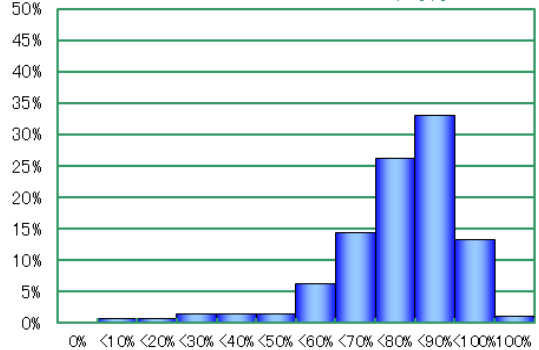
### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	話すこと・聞くこと	75.0	76.7	75.2	1.5
	書くこと	57.5	50.2	53.2	▼3.0
	読むこと	58.1	55.4	55.7	▼0.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.5	72.8	70.9	1.9
観点	国語への関心・意欲・態度	61.9	60.3	60.5	▼0.2
	話す・聞く能力	75.0	76.7	75.2	1.5
	書く能力	56.5	51.7	53.5	▼1.8
	読む能力	58.1	55.4	55.7	▼0.3
	言語についての知識・理解・技能	71.4	71.3	69.7	1.7
解答形式	選択	63.1	59.4	59.8	▼0.3
	短答	79.4	82.4	79.5	2.9
	記述	55.8	52.6	53.6	▼1.0

### 算数

	算数				
		基礎	活用		
			思考・判断力	表現力	
目標値	73.3	78.7	53.1	55.8	45.0
瀬戸内市	75.9	82.0	52.9	55.9	43.9
H26年度	70.3	76.2	48.1	49.4	44.1
全国	74.6	80.8	51.3	54.2	42.5
評価	≒	≒	≒	≒	≒

★正答率度数分布



※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	数と計算	76.2	79.5	78.8	0.8
	量と測定	71.1	69.9	68.8	1.1
	図形	76.7	83.3	78.2	5.1
	数量関係	63.0	66.8	65.5	1.3
観点	算数への関心・意欲・態度	66.1	65.6	64.0	1.6
	数学的な考え方	57.6	58.8	57.0	1.8
	数量や図形についての技能	75.0	77.8	76.4	1.4
	数量や図形についての知識・理解	75.8	78.4	77.4	1.0
解答形式	選択	73.3	75.1	73.7	1.4
	短答	76.9	80.8	79.8	1.0
	記述	45.0	43.9	42.5	1.5

## 2 生活行動調査

### ① 全国平均と比較して6ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
地域の行事に参加している	78.6	66.0	12.6
勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している	64.2	52.3	11.9
家の人から言われなくても、進んで勉強している	80.8	71.8	9.0
睡眠不足にならないようにしている	86.3	78.0	8.3
朝は、自分で起きている	72.7	65.6	7.1
困っている人の手助けをしている	75.3	68.2	7.1
夜は、時刻を決めて寝ている	69.7	62.7	7.0
学校のきまりを守っている	95.9	89.9	6.0
勉強するときは、集中して勉強している	83.4	77.4	6.0

### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている	72.0	75.6	-3.6
筆記用具などを用意してから、勉強している	86.7	88.9	-2.2
学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている	70.8	72.7	-1.9
家の人と決めた約束やきまりを守っている	85.6	87.4	-1.8
学校では、先生に挨拶をしている	88.2	89.5	-1.3
新聞の記事を読んでいる	38.4	38.7	-0.3
夕食をきちんと食べている	97.0	97.3	-0.3

## 3 学習活動調査結果

### 国語

#### ① 全国平均と比較して5ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
話し合いで、自分の考えを進んで話している	69.7	59.5	10.2
国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	70.5	63.1	7.4
分からない言葉があれば、辞書を引いている	72.3	65.4	6.9
クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある	50.2	44.1	6.1
改行などの形式を工夫して、文章を書いている	66.8	61.1	5.7
話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている	88.6	83.6	5.0

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える	54.2	60.7	-6.5
国語の授業のために、予習をしている	46.5	50.1	-3.6
物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる	70.8	74.2	-3.4
文章を書くときは、覚えた漢字を使っている	79.0	81.5	-2.5

### 算数

#### ① 全国平均と比較して3ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
計算式は、後から見ても分かるように、正しくきれいに書いている	79.0	73.3	5.7
問題を解くときは、前に解いたやり方が使えるかどうか考えている	80.4	74.9	5.5
算数の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	73.4	69.2	4.2
文章問題は、式や図に置きかえて考えている	76.8	73.0	3.8
返された算数の答えは、見直しをしている	83.0	79.3	3.7
算数の授業で習ったことは、復習をしている	62.7	59.5	3.2

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
算数の授業のために、予習をしている	54.2	55.6	-1.4

小学校4年  
国語

大問番号	中間番号	小問番号	解答形式	活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	評価	目標値	市町村 正答率	全国 正答率
1	(1)		選択		話し合いの内 ようを聞き取る	話すこと・聞く こと	大事なことを落とさないように聞き取ることが できる。	▼	75.0	68.4	70.2
	(2)		選択					△	85.0	90.1	87.1
	(3)		記述	表				△	65.0	71.7	68.2
2	(1)	①	短答		漢字を読む	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	第3学年配当漢字を読むことができる。	≒	95.0	98.2	96.0
		②	短答					△	80.0	89.0	83.2
		③	短答					≒	95.0	97.4	97.7
		④	短答					△	90.0	96.3	93.5
	(2)	①	短答		漢字を書く	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	第3学年配当漢字を書くことができる。	≒	60.0	57.7	55.4
		②	短答					▼	65.0	59.9	59.5
		③	短答					△	75.0	86.0	81.2
		④	短答					≒	75.0	74.8	69.6
3	(1)		選択		言葉の学習	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	文の構成(主語と述語)について理解してい る。	≒	60.0	58.5	53.7
	(2)		選択					▼	40.0	34.6	30.7
	(3)	①	選択					▼	65.0	58.5	62.2
		②	選択	思				▼	70.0	62.5	67.7
4	(1)		選択		物語の内よう を読み取る	読むこと	場面の移り変わりに注意して、文章を読み 取ることができる。	≒	70.0	71.7	70.8
	(2)		選択					≒	80.0	82.7	82.0
	(3)		選択	思				▼	30.0	7.7	12.4
5	(1)		選択		せつ明文の内 ようを読み取 る	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。 段落の役割を理解して、文章の内容を的確 に読み取ることができる。	▼	55.0	48.2	50.3
	(2)		選択					≒	85.0	88.2	85.2
	(3)		選択					≒	60.0	56.3	57.9
6	(1)		選択	思	インタビューと メモ、文章を読 み取る	読むこと	与えられた情報を読み取り、インタビューの 仕方とメモの取り方の工夫を理解すること ができる。	≒	45.0	45.2	46.6
	(2)		記述	表				≒	40.0	43.4	40.6
7			記述		作文	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	▼	60.0	54.0	57.8
			記述					▼	45.0	36.8	41.4
			記述					▼	60.0	52.0	54.7
			記述					▼	65.0	57.9	59.0

小学校4年  
算数

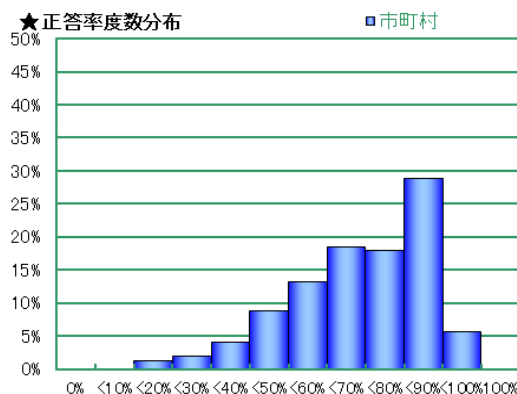
大問番号	中間番号	解答形式	活用組	問題の内容	領域	出題のねらい	評価	目標値	市町村	全国
									正答率	正答率
1	(1)	短答		計算のふく習	数と計算	2けた+2けた=3けた(波及的繰り上がりあり)の計算ができる。	△	90.0	96.3	94.7
	(2)	短答		たし算・ひき算		3けた+4けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	▼	85.0	77.2	78.7
	(3)	短答				4けた-4けた=4けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	≒	70.0	73.9	74.9
	(4)	短答		計算のふく習		9の段の九九ができる。	△	90.0	98.2	97.2
	(5)	短答		かけ算		2けた×1けた=3けたの計算ができる。	≒	85.0	83.1	83.8
	(6)	短答				2けた×2けた=4けたの計算ができる。	≒	70.0	71.0	71.3
	(7)	短答		わり算		2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	△	90.0	96.7	95.5
	(8)	短答				2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	≒	90.0	92.3	91.3
	(9)	短答		大きい数・小数・分数		整数-小数第一位の計算ができる。	△	70.0	79.0	76.0
	(10)	短答				同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	△	90.0	96.3	96.6
2	(1)	選択		大きい数・小数・分数	数と計算	位取り記数法を理解し、100万、1万、1000、1の個数から、その数を表すことができる。	≒	90.0	91.9	91.0
	(2)	選択				数の相対的な大きさについて理解している。	△	60.0	69.9	67.6
3	(1)	選択		大きい数・小数・分数	数と計算	小数のしくみを理解している。	△	90.0	97.1	94.9
	(2)	選択				小数の相対的な大きさについて理解している。	△	90.0	95.2	92.2
4		選択		大きい数・小数・分数	数と計算	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	▼	55.0	48.9	53.0
5		選択		大きい数・小数・分数	数と計算	分数を大きい順に並べることができる。	≒	40.0	42.6	44.1
6		短答		かけ算	数と計算	乗数や被乗数が0のときの計算について理解している。	≒	80.0	81.3	81.1
7	(1)	選択		わり算	数と計算	倍とわり算の文章問題に合った式を選ぶことができる。	≒	70.0	69.9	68.2
	(2)	短答				除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	△	80.0	87.5	85.5
8	(1)	選択	思	□を使った式	数量関係	□を使った文章問題(減法逆の減法の場面)を表した図を理解している。	≒	80.0	84.9	84.4
	(2)	短答	思			□を使って、減法の式に表すことができる。	△	60.0	69.9	67.7
9		選択	思	□を使った式	数量関係	□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	≒	55.0	50.7	50.9
10	(1)	選択		時こくと時間	量と測定	ある時刻から一定時間が経過した時刻を求めることができる。	≒	90.0	90.8	86.4
	(2)	選択				2つの時刻を比較して、その間の時間を求めることができる。	≒	85.0	87.5	84.4
	(3)	選択				時間の単位の関係を理解し、秒を分と秒に直すことができる。	△	85.0	91.5	89.6
11	(1)	選択		長さ・重さ	量と測定	道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	≒	85.0	83.1	85.3
	(2)	選択				地図から2つの道のりを読み取り、その合計の長さの大小を比較できる。	≒	65.0	65.4	68.9
12	(1)	選択		長さ・重さ	量と測定	はかりの目盛りの読み方を理解している。	≒	80.0	75.4	77.6
	(2)	選択				身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使うことができる。	△	80.0	85.3	79.9
13	(1)	選択		円と球・三角形	図形	円の直径について理解している。	≒	90.0	93.8	86.8
	(2)	選択				球の半径から、球が2個入った箱の辺の長さを求めることができる。	△	60.0	67.3	62.5
14		短答		円と球・三角形	図形	正三角形を作図することができる。	△	80.0	89.0	85.3
15		短答	思	かけ算	数と計算	800×7の計算のしかたを説明することができる。	≒	55.0	54.8	52.9
16		記述	表	わり算	数と計算	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明できる。	△	60.0	67.3	63.8
17	(1)	記述	表	時こくと時間	量と測定	時刻表とバスでかかる時間から、目的地に着く時刻を計算し、その求め方を説明することができる。	▼	30.0	20.6	21.1
	(2)	選択	思			時刻表と電車・バスでかかる時間から、ある時刻までに目的地に着くことができるかどうか、判断することができる。	▼	40.0	29.0	25.6
18	(1)	選択		ぼうグラフと表	数量関係	棒グラフを読み取り、2番目に多かった飲み物を指摘することができる。	△	75.0	82.0	80.4
	(2)	短答	思			棒グラフを見て数値を読み取り、ある項目の数がほかの項目の数の何倍になっているか求めることができる。	≒	45.0	46.3	43.9

# 平成27年度瀬戸内市学力・学習状況調査結果の概要（小学校第5学年）

## 1 学力調査結果（基礎・活用）

### 国語

	国語				
	基礎	活用			表現力
		思考・判断力			
目標値	67.7	68.9	62.0	75.0	42.5
瀬戸内市	68.3	69.7	62.0	76.8	39.8
H26年度	63.2	64.4	57.6	76.6	29.1
全国	70.9	71.9	66.1	80.8	44.0
評価	≒	≒	≒	≒	≒



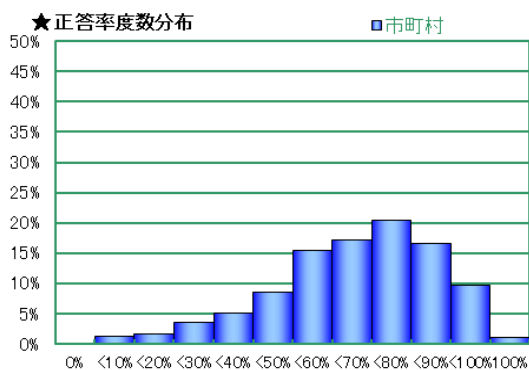
※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	話すこと・聞くこと	68.3	69.8	72.3	▼2.5
	書くこと	61.3	61.6	64.6	▼3.0
	読むこと	64.4	63.7	66.5	▼2.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.1	73.7	75.9	▼2.2
観点	国語への関心・意欲・態度	63.8	64.0	66.9	▼2.9
	話す・聞く能力	68.3	69.8	72.3	▼2.5
	書く能力	57.5	57.2	60.5	▼3.2
	読む能力	64.4	63.7	66.5	▼2.8
	言語についての知識・理解・技能	71.4	73.0	75.3	▼2.4
解答形式	選択	68.2	68.0	71.0	▼3.0
	短答	76.3	79.4	80.4	▼1.0
	記述	55.0	54.3	57.7	▼3.4

### 算数

	算数				
	基礎	活用			表現力
		思考・判断力			
目標値	68.2	70.5	57.9	61.0	50.0
瀬戸内市	65.7	68.7	52.8	59.2	36.8
H26年度	65.2	67.6	54.5	53.4	57.2
全国	69.8	72.1	59.5	65.5	44.7
評価	≒	≒	▼	≒	▼



※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	数と計算	73.6	73.3	75.9	▼2.6
	量と測定	67.0	64.6	66.8	▼2.2
	図形	56.3	46.2	54.2	▼8.0
	数量関係	58.6	53.9	61.6	▼7.7
観点	算数への関心・意欲・態度	61.4	55.0	62.6	▼7.6
	数学的な考え方	62.0	58.1	64.1	▼6.0
	数量や図形についての技能	71.0	69.2	72.6	▼3.4
	数量や図形についての知識・理解	65.3	62.3	66.4	▼4.1
解答形式	選択	67.2	65.9	69.0	▼3.1
	短答	71.1	68.8	73.4	▼4.6
	記述	50.0	36.8	44.7	▼7.9

## 2 生活行動調査

### ① 全国平均と比較して5ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
地域の行事に参加している	78.4	60.2	18.2
睡眠不足にならないようにしている	82.1	73.4	8.7
朝は、自分で起きている	71.5	64.8	6.7
自分で勉強の計画を立てて、勉強している	69.9	63.5	6.4
学習塾に行って、勉強している	37.0	30.8	6.2
家では、勉強する場所を決めている	83.4	77.7	5.7
家の人から言われなくても、進んで勉強している	74.0	68.5	5.5
テレビのニュースを見ている	83.7	78.3	5.4
学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている	76.5	71.4	5.1

### ② 全国平均と比較して、3ポイント以上肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
自分のことが好きである	55.1	62.2	-7.1
勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している	51.1	55.1	-4.0
通信添削を利用して、勉強している	21.6	25.2	-3.6
自分は、家の人から認められていると思う	70.9	74.3	-3.4
自分が住んでいる地域が好きである	84.9	88.3	-3.4
自分には、良いところがあると思う	63.6	66.6	-3.0

## 3 学習活動調査結果

### 国語

#### ① 全国平均と比較して3ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
話し合いで、自分の考えを積極的に話している	60.8	50.9	9.9
国語の授業で習ったことは、復習をしている	56.4	49.4	7.0
クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある	50.5	43.6	6.9
話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている	88.1	83.1	5.0
国語の宿題は、きちんとしている	94.7	91.4	3.3
国語の授業では、先生の話をしっかり聞いている	94.4	91.2	3.2

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	51.1	55.8	-4.7
分からない言葉があれば、辞書を引いている	61.1	65.2	-4.1
改行などの形式を工夫して、文章を書いている	57.7	58.6	-0.9
返された国語の答えは、見直しをしている	78.1	78.2	-0.1

### 算数

#### ① 全国平均と比較して10ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
算数の授業は、分かっている	90.6	84.9	5.7
算数の授業で習ったことは、復習をしている	61.4	56.0	5.4
図や表をかくときは、定規などを使って正しくきれいにしている	87.8	83.3	4.5
計算式は後から見て分かるように、正しくきれいに書いている	74.9	70.8	4.1
算数の宿題は、きちんとしている	95.3	91.4	3.9
算数の授業のために、予習をしている	55.5	52.2	3.3
算数のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している	75.2	71.9	3.3
算数の授業では、先生の話をしっかり聞いている	95.3	92.1	3.2

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
算数の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	61.1	63.7	-2.6
文章問題は、式や図に置きかえて考えている	68.3	70.3	-2.0
計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある	42.9	44.2	-1.3
返された算数の答えは、見直しをしている	77.4	77.7	-0.3

小学校5年  
国語

大問番号	中間番号	小問番号	解答形式	活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	評価	目標値	市町村 正答率	全国 正答率
1	(1)		選択		話し合いの内 よきを聞き取る	話すこと・聞く こと	話の中心に気をつけて聞くことができる。	△	90.0	97.2	96.1
	(2)		選択				話し方の工夫に気をつけて聞くことができる。	≒	80.0	84.0	88.1
	(3)		記述	表			互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合おうとすることができる。	▼	35.0	28.2	32.6
2	(1)	①	短答		漢字を読む	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	第4学年配当漢字を読むことができる。	△	90.0	96.6	97.6
		②	短答					△	90.0	95.9	97.3
		③	短答					△	90.0	97.8	97.5
		④	短答					≒	85.0	88.7	90.6
	(2)	①	短答		漢字を書く		第4学年配当漢字を書くことができる。	≒	50.0	52.4	46.5
		②	短答					≒	60.0	64.6	58.8
		③	短答					▼	70.0	62.1	74.7
		④	短答					≒	75.0	77.4	80.3
3	(1)		選択		言葉の学習	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	文の構成(連体修飾語)について理解している。	≒	70.0	72.7	73.7
	(2)		選択				文の構成(連用修飾語)について理解している。	▼	40.0	21.0	32.0
	(3)		選択	思			指示語の使い方を理解している。	△	85.0	91.2	94.4
	(4)		選択				漢字辞典の使い方を理解している。	≒	60.0	63.9	66.9
4	(1)		選択		物語の内よ きを読み取る	読むこと	登場人物の気持ちを読み取ることができる。	△	80.0	87.5	89.1
	(2)		選択				場面の様子を読み取ることができる。	▼	55.0	49.2	52.5
	(3)		選択				目的や必要に応じて、登場人物の気持ちを読み取ることができる。	≒	75.0	78.4	80.4
	(4)		選択	思							
5	(1)		選択		説明文の内よ きを読み取る	読むこと	文章の内容を的確に読み取ることができる。	≒	70.0	73.4	74.0
	(2)		選択				段落の役割を理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	≒	60.0	55.8	59.5
	(3)		選択					▼	45.0	38.2	37.8
6	(1)		選択	思	ポスターと話し 合いを読み取る	読むこと	与えられた情報を読み取り、ポスターの内容に適した絵を選ぶことができる。	≒	65.0	60.8	67.6
	(2)		記述	表			与えられた情報を読み取り、ポスターに補足する文章を書くことができる。	≒	50.0	51.4	55.4
7			記述		作文	書くこと	指定された長さで文章を書くことができる。	△	70.0	76.2	76.1
			記述				2段落構成で文章を書くことができる。	≒	55.0	55.8	62.9
			記述				目的や必要に応じて、取材内容をまとめた文章を書くことができる。	≒	65.0	66.3	69.4
			記述				目的や必要に応じて、取材内容と、取材者としての感想をまとめた文章を書くことができる。	▼	55.0	48.1	50.0



小学校5年  
算数

大問番号	中間番号	解答形式	活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	評価	目標値	市町村 正答率	全国 正答率
1	(1)	短答		計算のふく習	数と計算	2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	≒	90.0	87.8	89.5
	(2)	短答		わり算		2けた÷1けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	≒	85.0	83.4	86.1
	(3)	短答				3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	≒	70.0	69.9	73.7
	(4)	短答		計算のふく習		小数第一位+整数の計算ができる。	△	70.0	77.4	72.5
	(5)	短答		小数		小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	≒	90.0	91.5	91.8
	(6)	短答				小数第一位-小数第三位(差が純小数)の計算ができる。	≒	70.0	67.4	73.6
	(7)	短答		分数		帯分数+帯分数=帯分数(繰り上がりあり)の同分母分数の計算ができる。	≒	75.0	77.1	75.3
	(8)	短答				帯分数-真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。	△	80.0	86.8	85.8
	(9)	短答		小数		小数第一位×整数の計算ができる。	▼	80.0	71.2	78.2
	(10)	短答				小数第二位÷整数=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	≒	65.0	63.6	67.8
2	(1)	選択		億と兆・がい数の表し方	数と計算	命数法で書かれた数を記数法で表すことができる。	≒	80.0	79.3	82.5
	(2)	選択				数の相対的な大きさについて理解している。	≒	60.0	58.9	60.3
3	(1)	選択		小数	数と計算	小数のしくみを理解している。	≒	85.0	89.0	88.5
	(2)	選択				小数を用いた重さの単位換算ができる。	≒	65.0	61.4	66.1
4		選択		分数	数と計算	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	≒	85.0	83.7	89.6
5		選択		分数	数と計算	仮分数, 真分数, 整数, 帯分数を大小順に並べることができる。	≒	70.0	71.2	70.4
6	(1)	選択		億と兆・がい数の表し方	数と計算	上からある桁までの概数の表し方を理解している。	△	75.0	86.8	79.8
	(2)	選択				概数に対応する数の範囲を理解している。	▼	55.0	47.0	53.3
7	(1)	選択	思	わり算	数と計算	倍とわり算の文章問題を表した図を理解している。	≒	70.0	66.5	71.7
	(2)	選択				図を使って, 倍とわり算の文章問題に合った式を選ぶことができる。	≒	70.0	71.2	74.3
8	式	短答		小数	数と計算	文章問題を解くための整数÷整数=小数第一位の除法の立式ができる。	▼	65.0	58.3	68.3
	答え	短答				文章問題を解くために立式した整数÷整数=小数第一位の式から, 正しい答えを求めることができる。	≒	65.0	63.6	71.2
9		選択		計算のきまり・変わり方調べ	数量関係	四則の混じった式の計算順序を理解している。	▼	70.0	58.9	66.3
10		選択		計算のきまり・変わり方調べ	数量関係	分配法則を理解している。	≒	40.0	36.4	43.7
11	(1)	選択		角の大きさ	量と測定	分度器の中に示された角の大きさの目盛りを読み取ることができる。	≒	80.0	84.0	76.4
	(2)	選択	思			180°より大きい角の大きさの見当をつけることができる。	≒	60.0	63.6	66.4
12	(1)	短答		面積	量と測定	長方形の面積と縦の長さから, 横の長さを求めることができる。	≒	85.0	82.4	84.4
	(2)	選択				身近にあるものの面積を推察することができる。	▼	40.0	28.8	37.7
13		選択		面積	量と測定	複合図形で, 面積を求める式から図がわかる。	▼	70.0	64.3	69.1
14		短答		いろいろな形	図形	四角形の定義や特徴を理解している。	▼	60.0	45.5	62.0
15		選択		いろいろな形	図形	直方体のある面と垂直な辺がわかる。	≒	75.0	77.7	80.9
16		短答		計算のきまり・変わり方調べ	数量関係	伴って変わる2つの数量の関係(比例)を式に表すことができる。	≒	55.0	55.5	58.2
17		短答		いろいろな形	図形	平行四辺形の作図ができる。	▼	60.0	48.3	58.0
18		記述	表	いろいろな形	図形	ひし形の性質を理解している。	▼	30.0	13.5	16.0
19		記述	表	折れ線グラフと表	数量関係	二次元表の読み方を理解している。	▼	70.0	60.2	73.4
20	(1)	短答	思	折れ線グラフと表	数量関係	2つの折れ線グラフの値の差を読み取ることができる。	≒	55.0	53.9	59.6
	(2)	選択	思			折れ線グラフと棒グラフを正しく読み取ることができる。	≒	60.0	57.7	64.5
	(3)	短答	思			折れ線グラフと棒グラフを正しく読み取り, 問題を解くことができる。	▼	60.0	54.5	65.2

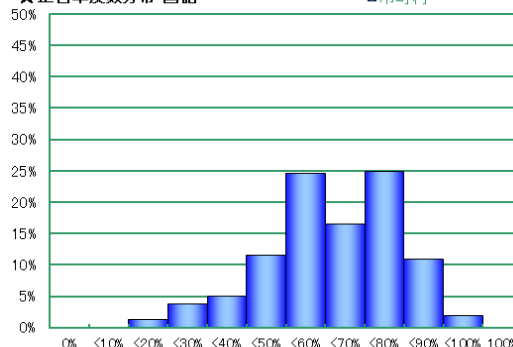
# 平成27年度瀬戸内市学力・学習状況調査結果の概要(中学校第2学年)

## 1 学力調査結果(基礎・活用)

### 国語

	国語				
		基礎	活用		
			思考・判断力	表現力	
目標値	63.1	66.8	50.0	50.0	50.0
瀬戸内市	62.1	65.6	49.6	47.5	54.7
H26年度	68.2	70.9	58.7	64.7	43.7
全国	64.3	68.0	50.9	50.3	52.5
評価	≒	≒	≒	≒	≒

★正答率度数分布 国語



※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

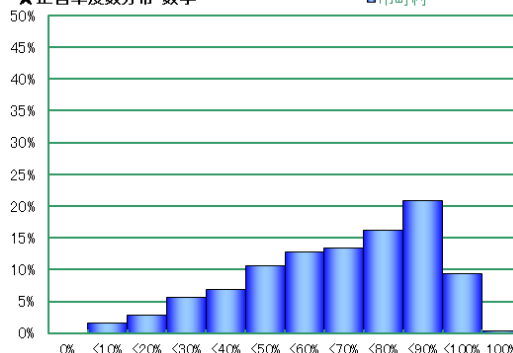
### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	話すこと・聞くこと	75.0	78.9	78.6	0.3
	書くこと	74.0	74.8	77.7	▼2.9
	読むこと	53.2	49.7	53.1	▼3.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	63.8	62.6	64.2	▼1.6
観点	国語への関心・意欲・態度	70.0	73.3	73.4	▼0.1
	話す・聞く能力	75.0	78.9	78.6	0.3
	書く能力	70.0	71.4	73.5	▼2.1
	読む能力	53.2	49.7	53.1	▼3.4
	言語についての知識・理解・技能	64.0	62.6	64.5	▼1.9
解答形式	選択	58.0	54.9	57.8	▼3.0
	短答	68.0	68.1	69.5	▼1.4
	記述	67.1	69.0	70.5	▼1.5

### 数学

	数学				
		基礎	活用		
			思考・判断力	表現力	
目標値	60.1	62.6	49.3	54.0	37.5
瀬戸内市	63.5	66.1	52.2	58.0	37.7
H26年度	55.1	57.2	44.0	43.6	44.8
全国	60.7	63.1	49.8	54.9	37.0
評価	≒	≒	≒	≒	≒

★正答率度数分布 数学



※評価の記号は、目標値に対し、『△…上回っている』、『≒…同程度』、『▼…下回っている』を表しています。

### ☆ カテゴリー別正答率

分類	区別	目標値	瀬戸内市	全国	全国との差
領域	数と式	65.7	68.8	66.2	2.6
	図形	63.8	65.6	64.6	1.0
	関数	56.1	59.0	57.1	1.9
	資料の活用	47.5	54.2	46.9	7.3
観点	数学への関心・意欲・態度	52.5	56.4	53.1	3.3
	数学的な見方や考え方	54.1	57.7	55.1	2.6
	数学的な技能	60.6	64.9	61.2	3.7
	数量や図形などについての知識・理解	59.1	62.4	59.4	3.0
解答形式	選択	61.2	65.1	62.0	3.1
	短答	61.6	64.8	62.0	2.8
	記述	37.5	37.7	37.0	0.7

## 2 生活行動調査

### ① 全国平均と比較して10ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
困っている人の手助けをしている	76.4	57.4	19.0
学習塾に行つて、勉強している	56.5	41.1	15.4
自分には、良いところがあると思う	67.4	52.6	14.8
地域の行事に参加している	54.0	40.3	13.7
自分は、先生から認められていると思う	61.8	48.9	12.9
勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している	38.8	26.3	12.5
自分のことが好きである	53.8	41.4	12.4
自分は、友だちから認められていると思う	69.3	57.9	11.4
自分は、家の人から認められていると思う	76.8	65.8	11.0

### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
参考書や問題集などを使って、勉強している	50.3	55.0	-4.7
通信添削を利用して、勉強している	16.8	20.5	-3.7
勉強に図書館を利用している	9.0	10.2	-1.2
本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる	65.2	66.2	-1.0

## 3 学習活動調査結果

### 国語

#### ① 全国平均と比較して10ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
伝えたいことを明確にして、文章を書いている	73.6	52.6	21.0
論理や構成を工夫して、文章を書いている	61.5	45.5	16.0
説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える	66.8	51.4	15.4
話し合いで、自分の考えを積極的に話している	52.5	39.4	13.1
国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	56.2	43.4	12.8
話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている	88.8	77.1	11.7

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
分からない言葉があれば、辞書を引いている	50.3	56.8	-6.5
国語の授業で習ったことは、復習をしている	41.0	42.7	-1.7

### 数学

#### ① 全国平均と比較して10ポイント以上肯定的な回答率が高かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
数学の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	68.6	55.1	13.5
数学の授業は、理解している	86.0	73.8	12.2
図や表をかくときは、定規などを使って正しくきれいに描いている	92.2	80.3	11.9
数学で学習した知識（公式・法則など）を家の人（友だちをふくむ）に話している	47.5	36.2	11.3
計算式は後から見て分かるように、正しくきれいに書いている	73.6	62.9	10.7

#### ② 全国平均と比較して、肯定的な回答率が低かった項目

質問	瀬戸内市	全国	全国との差
ソロバンをやっている（「やっていた」をふくむ）	11.8	15.0	-3.2
計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある	30.1	30.2	-0.1

中学校2年  
国語

大問番号	中問番号	小問番号	解答形式	活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	評価	目標値	市町村 正答率	全国 正答率
1	(1)		選択		話し合いの内容を聞き取る	話すこと・聞くこと	二人の意見の共通点を聞き取ることができる。	1年A(1)エ	△	90.0	99.1	98.0
	(2)		選択	聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。			≒		60.0	62.1	59.8	
	(3)		選択	司会者の工夫を聞き取ることができる。			1年A(1)オ	≒	80.0	78.9	82.0	
	(4)		記述	表			話し手の意見に対して自分の考えを持ち、質問することができる。	1年A(1)エ	△	70.0	75.5	74.4
2	(1)	①	短答		漢字を読む	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。	1年伝国(1)ウ(ア)	▼	85.0	79.8	82.6
		②	短答	△					85.0	92.9	90.0	
		③	短答	△					90.0	98.8	98.8	
		④	短答	△					90.0	95.0	96.1	
	(2)	①	短答		漢字を書く		小学校で学習した漢字を書くことができる。	1年伝国(1)ウ(イ)	≒	70.0	66.8	73.9
		②	短答	▼					30.0	22.4	20.2	
		③	短答	▼					45.0	33.2	43.7	
		④	短答	≒					70.0	67.1	70.0	
3	(1)		短答	文法・語句に関する知識	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	単語について理解している。	1年伝国(1)イ(エ)	△	65.0	83.2	70.3	
	(2)		選択			文節の関係について理解している。		▼	30.0	14.9	17.3	
	(3)		短答			歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。	1年伝国(1)ア(ア)	▼	50.0	41.9	49.7	
	(4)		選択			思	故事成語について理解している。	1年伝国(1)イ(ウ)	≒	55.0	55.0	57.4
4	(1)		選択	説明文の内容を読み取る	読むこと	文章の展開に即して内容をとらえることができる。	1年C(1)イ	▼	70.0	61.8	66.7	
	(2)		選択			思		文章の展開をとらえて、その内容を整理してまとめることができる。	≒	60.0	61.2	57.1
	(3)		選択			文章の構成や展開をとらえることができる。	1年C(1)エ	≒	40.0	36.6	37.6	
	(4)		選択			文章の展開に即して内容をとらえることができる。	1年C(1)イ	▼	50.0	44.1	48.4	
5	(1)		選択	文学作品の内容を読み取る	読むこと	登場人物の心情をとらえることができる。	1年C(1)ウ	≒	60.0	55.6	62.7	
	(2)		選択			思		登場人物の人物像をとらえることができる。	≒	50.0	47.2	52.8
	(3)		選択			文章の表現について正確にとらえることができる。	1年C(1)エ	▼	65.0	57.8	65.9	
	(4)		選択									
6	(1)		選択	ポスターと発表原稿の内容を読み取る	読むこと	発表原稿の構成を考えて、追加する文章を入れる適切な位置を選ぶことができる。	1年C(1)エ	≒	30.0	25.2	29.9	
	(2)		選択			思	発表原稿の内容を要約して、ポスターにあてはめることができる。	1年C(1)イ	▼	55.0	49.1	54.4
	(3)		記述			表	発表原稿の内容を正確にとらえて、要旨をまとめることができる。	1年C(1)オ	≒	30.0	33.9	30.6
7			記述	作文	書くこと	指定された文字数で書くことができる。	1年B(1)イ	≒	75.0	76.7	79.1	
			記述			3段落構成で文章を書くことができる。		▼	70.0	63.7	72.8	
			記述			読み取った内容を明確にして書くことができる。	1年B(1)ウ	△	80.0	85.2	84.8	
			記述					≒	70.0	70.8	73.4	
			記述					≒	75.0	77.3	78.4	

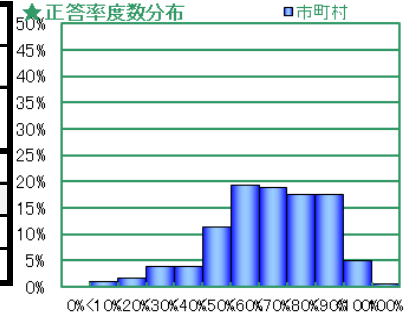
中学校2年  
数学

大問番号	中問番号	解答形式	活用観点	問題の内容	領域	出題のねらい	評価	目標値	市町村 正答率	全国 正答率
1	(1)	短答		計算の復習	数と式	分数の除法ができる。	≒	80.0	83.9	82.8
	(2)	短答				分数の四則混合の計算ができる。	≒	65.0	64.6	68.1
	(3)	短答				かっこを含む正負の数の減法ができる。	≒	85.0	87.0	84.3
	(4)	短答		正の数・負の数		負の数の累乗の計算ができる。	≒	80.0	78.9	79.0
	(5)	短答		文字式		同類項をまとめることができる。	△	75.0	87.6	75.7
	(6)	短答				1次式の減法ができる。	△	55.0	67.7	56.3
	(7)	短答				分子が1次式である分数の加法ができる。	≒	30.0	25.2	24.8
2	(1)	短答		1次方程式	数と式	簡単な1次方程式を解くことができる。	≒	85.0	86.6	84.6
	(2)	短答					≒	75.0	76.4	75.7
3		選択		1次方程式	数と式	比例式を解くことができる。	≒	65.0	60.2	66.2
4	(1)	選択		正の数・負の数	数と式	正負の数の大小関係を不等号を使って表すことができる。	≒	70.0	68.0	69.3
	(2)	選択				絶対値について理解している。	△	60.0	65.8	62.5
5		短答	思	正の数・負の数	数と式	基準との差を正負の数で表した表から平均を求めることができる。	≒	60.0	63.4	60.7
6		選択		文字式	数と式	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	△	50.0	58.7	52.4
7		短答	思	1次方程式	数と式	文章題を方程式で解くために数量を整理した図を正しく理解し、方程式をつくることことができる。	△	50.0	57.8	50.6
8		選択		比例・反比例	関数	比例・反比例でxの値が変化するとき、yの値がどのように変化するかを理解している。	≒	65.0	66.5	66.0
9	(1)	選択		比例・反比例	関数	比例の関係にあるxとyを式に表すことができる。	≒	50.0	47.8	51.7
	(2)	選択				反比例の関係を表す表から、比例定数を求めることができる。	≒	65.0	69.3	67.0
10	(1)	選択		比例・反比例	関数	x, yの反比例の関係を表すグラフから、反比例の式を求めることができる。	△	65.0	74.2	68.5
	(2)	短答				比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	△	55.0	65.2	52.7
11		短答		比例・反比例	関数	グラフを読み取り、速さを求めることができる。	≒	65.0	63.4	64.5
12		短答		平面図形	図形	作図した図から、直線が線分の垂直二等分線であることを指摘することができる。	▼	55.0	37.3	56.6
13		選択		平面図形	図形	対称移動と回転移動をさせた図形の位置を選ぶことができる。	≒	55.0	58.4	56.3
14		短答		平面図形	図形	三角形の紙を2辺が重なるように折ったときの折り目の線(角の二等分線)を作図することができる。	△	55.0	65.5	57.5
15	(1)	選択		空間図形	図形	平面図形を回転させてできた立体を選ぶことができる。	≒	85.0	85.4	84.9
	(2)	選択				投影図から、立体の形を判断することができる。	≒	80.0	79.8	80.1
16	(1)	選択		空間図形	図形	円錐の展開図から、その表面積を求める式を選ぶことができる。	≒	65.0	68.3	67.8
	(2)	選択				球の体積を求める式を選ぶことができる。	△	55.0	60.2	53.0
17		選択		空間図形	図形	高さや底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。	△	60.0	70.2	60.8
18	(1)	短答		資料の散らばりと代表値	資料の活用	度数分布表から、階級の相対度数を求めることができる。	△	40.0	52.2	40.3
	(2)	選択				度数分布表から、最頻値を求めることができる。	△	35.0	40.7	25.3
19		選択		資料の散らばりと代表値	資料の活用	資料の範囲の意味を理解している。	△	60.0	70.2	63.8
20		選択		資料の散らばりと代表値	資料の活用	有効数字について理解し、ある重さの測定値を10の累乗を使った形に表すことができる。	△	55.0	63.4	58.5
21	(1)	短答	思	資料の散らばりと代表値	資料の活用	ヒストグラムの階級の幅を求めることができる。	△	50.0	55.9	49.4
	(2)	記述	表			2つのヒストグラムを比較し、どちらの折り方の紙飛行機を選ぶか判断し、その理由を説明することができる。	≒	45.0	43.2	44.1
22	(1)	短答	思	比例・反比例	関数	ある座標から数値を読み取るすることができる。	△	80.0	87.9	83.5
	(2)	記述	表			グラフの特徴から、その関数が比例であることを説明できる。	≒	30.0	32.1	29.8
	(3)	短答	思			グラフを読み取り、プロジェクターから体育館のスクリーンまでの距離を求めることができる。	▼	30.0	24.8	30.3

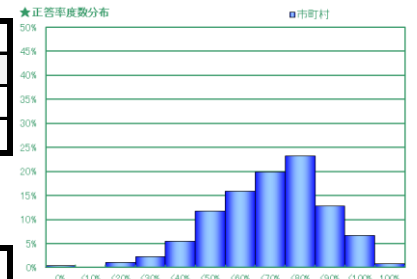
平成26年度第4学年から平成27年度第5学年の  
経年変化の様子(同一集団の変容)

1 国語について

		国語				
		基礎	活用			表現力
			思考・判断力			
平成26年度 第4学年	目標値	67.8	69.3	61.0	65.0	55.0
	瀬戸内市	63.8	66.1	54.0	59.5	45.7
	全国	70.0	71.8	62.1	68.5	52.5
	評価	≒	≒	▼	▼	▼



平成27年度 第5学年	目標値	67.7	68.9	62.0	75.0	42.5
	瀬戸内市	68.3	69.7	62.0	76.8	39.8
	全国	70.9	71.9	66.1	80.8	44.0
	評価	≒	≒	≒	≒	≒

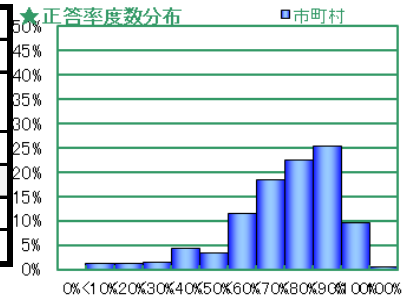


○ 変容の様子

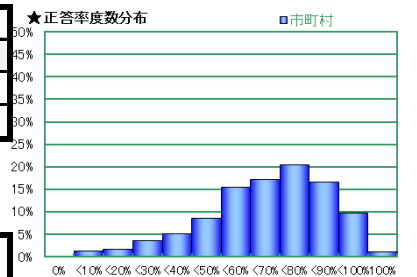
主に活用に関する項目について、評価が「下回っている▼」から「同程度≒」と変容し、学力の向上が認められる。分布図を見ると、中位層から下の児童の学力向上が見られる。

2 算数について

		算数				
		基礎	活用			表現力
			思考・判断力			
平成26年度 第4学年	目標値	70.9	76.7	49.4	51.7	42.5
	瀬戸内市	70.3	76.2	48.1	49.4	44.1
	全国	75.0	80.9	52.9	54.3	48.5
	評価	≒	≒	≒	≒	≒



平成27年度 第5学年	目標値	68.2	70.5	57.9	61.0	50.0
	瀬戸内市	65.7	68.7	52.8	59.2	36.8
	全国	69.8	72.1	59.5	65.5	44.7
	評価	≒	≒	▼	≒	▼



○ 変容の様子

主に活用に関する項目について、評価が「同程度≒」から「下回っている▼」と変容し、学力の向上は認められない。分布図を見ると、中位層から下位層の児童の分布が多くなっている。

# 平成27年度瀬戸内市学力・生活行動学習活動調査結果の概要

## 1 小学校第4学年の状況

### (1) 学力調査の特徴

国語については、全体の平均正答率が全国平均正答率を上回り、目標値と同程度の学力が認められる。しかし、活用に関する「思考・判断力」の項目については、目標値と比較すると平均正答率が10ポイントも下回り課題がある。その反面「表現力」の項目については、目標値と比較すると平均正答率が5ポイント上回り、トータルして活用に関しては、全国平均正答率や、目標値と同程度の評価となっている。

算数については、全体の平均正答率が全国平均正答率を上回り、目標値と同程度の学力が認められる。それぞれのカテゴリー別に見ても、わずかではあるが全てのカテゴリーにおいて全国平均正答率を上回っている。

### (2) 生活行動・学習活動調査の特徴

これまでの各種調査結果と同様に、地域行事への参加について肯定的な回答をしている児童の割合が全国平均と比較して高く、地域への関心の高さが窺える。国語の学習活動調査結果から、「話し合いで、自分の考えを進んで話している」と肯定的に回答した児童の割合が、全国平均と比較して10.2ポイントも高く、授業中に自分の考えを表現する活動の充実が図られている様子が窺える。

## 2 小学校第5学年の状況

### (1) 学力調査の特徴

国語については、全体の平均正答率が全国平均正答率を下回っているが、目標値と比較すると同程度の学力が認められる。カテゴリー別に見ても全ての項目について、全国平均正答率を下回っている。

算数についても、全体の平均正答率が全国平均正答率を下回っているが、目標値と比較すると同程度の学力が認められる。特に、活用については全国平均正答率より6.7ポイント下回り課題が大きい。中でも「表現力」に関する項目が7.9ポイント下回っている。カテゴリー別に見ると、領域では「図形」「数量関係」において課題が大きく、観点別に見ると「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」の観点で課題が大きい。また、解答形式別に見ると「記述式」の問題について課題がある。

### (2) 生活行動・学習活動調査の特徴

これまでの各種調査結果と同様に、地域行事への参加について肯定的な回答をしている児童の割合が全国平均と比較して高く、地域への関心の高さが窺える。「自分のことが好きである」という間に肯定的に回答した児童が、全国平均と比較して7.1ポイント低く、自己肯定感の低さが気になる点である。国語の学習活動調査結果から、「話し合いで、自分の考えを進んで話している」と肯定的に回答した児童の割合が、全国平均と比較して9.9ポイントも高く、授業中に自分の考えを表現する活動の充実が図られている様子が見られる。

## 3 中学校第2学年の状況

### (1) 学力調査の特徴

国語については、全体の平均正答率が全国平均正答率を下回っているが、目標値と比較すると同程度の学力が認められる。活用についてはトータルでは全国平均正答率を下回っているが、「表現力」については、全国平均正答率を上回っている。数学については、全体の平均正答率が全国平均正答率を上回り、目標値と同程度の学力が認められる。カテゴリー別に見ても、全てのカテゴリーで全国平均正答率を上回り、特に領域別に見て「資料の活用」については全国平均を7.3ポイント上回っている。

### (2) 生活行動・学習活動調査の特徴

生活行動調査を見てみると、多くの項目において、肯定的な回答をした生徒が全国平均と比較して多く、10ポイント以上上回っている設問も多い。自己肯定感が高く、周囲から認められていると感じる生徒が多いことが窺える。また、通塾率が全国と比較して高いが、自分で参考書や問題集などを使って勉強している生徒は少ない。国語の学習活動調査結果から、「伝えたいことを明確にして、文章を書いている」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均と比較して21ポイントも高かったり、「論理や構成を工夫して、文章を書いている」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均と比較して16ポイントも高かったりして、書くことへの意識が高いことが分かるが、正答率と比較すると整合がないことが気になる。数学の学習活動調査結果から、「数学の授業で分からないことがあれば、先生に質問している」と回答した生徒の割合や、「数学の授業は理解している」と回答した生徒の割合など、多くの設問において全国平均と比較して肯定的に回答した生徒の割合が高く、意欲的に数学の学習をしている生徒が多い状況が見られる。